

ペットボトルで模擬人工衛星発射

関市の中日本
航空専門学校生 打ち上げ実習



勢いよく水を吹き出し、飛び出すロケット＝関市
迫間、中日本航空専門学校

関市迫間の中日本航空専門学校の学生が4日、模擬人工衛星の打ち上げ実習を行った。ペットボトルロケットの原理で作られたロケットは、水しぶきを上げて空に舞い上がった。

航空生産科の授業「宇宙工学特論」の一環で行われ、3年生約50人が参加した。4人

でしつなど失敗するケースが多かった。うまくいったロケットは10〜20分の高さまで飛び、無事衛星を分離して、パラシュートで降下させた学生たちは歓声を上げた。今後は高度を上げる実習を行う予定。(田島豪人)